第２６回　機器･配管系検討会　議事録

１．開催日時：平成 19 年 7 月 30 日（月）13：30～１6：00

２．開催場所：日本電気協会　４A 会議室

３．出席者：（順不同，敬称略）

委　員：原主査（東京理科大学）、藤田先生（東京電機大学）、植田幹事（原電）、吉井（北海道電力）、飯田（東北電力）、波木井（東京電力）、堤(中部電力)、江藤（九州電力）上野(北陸電力)、吉賀（三菱重工業）、中島（東芝）、堀内（原子燃料工業）
(計 12 名)

代理出席：行徳(日立・鈴木代理)、横田（富士電機・尾崎代理）（計 2 名）

オブザーバ：鈴木(JNES)、酒井（電中研）、花田(日本原子力技術協会)（計 3 名）

事務局：荒木（日本電気協会）（計 1 名）

４．配布資料

資料 No.26-1	第 25 回 機器・配管系検討会 議事録（案）
資料 No.26-2-1	7.1　基本事項
資料 No.26-2-2-1	附属書 7.3　機器･配管系の耐震強度評価法　1 章～5 章 5.1
資料 No.26-2-2-2	附属書 7.3　機器･配管系の耐震強度評価法　5 章 5.2.1～5.2.6
資料 No.26-2-2-3	附属書 7.3　機器･配管系の耐震強度評価法　6 章～9 章
資料 No.26-2-3	附属書 7.4　動的機器の地震時機能維持評価法　10. 弁

５．議事

（１）出席者の確認

事務局より､本日の代理出席者は 2 名であり､代理出席者については規約に基づき原主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は 14 名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の２／３以上の出席であることが確認された。

（2）前回議事録案の確認

事務局より前回議事録（案）の紹介を行い、一部修正することとし、出席者全員の賛成で了承された。

（3）　7.1　基本事項

資料 No.26-2-1 により、　7.1　基本事項について、建築側の弾性設計用地震動Ｓｄに関する修正に伴う修文案の説明が行われ審議し、本案を次回分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

（4）附属書 7.3　機器･配管系の耐震強度評価法

資料 No.26-2-2-1～3 により、附属書 7.3　機器･配管系の耐震強度評価法について説明が行われ審議した。コメント箇所を修正し、次回分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

(1 章)

・1.2.2 評価項目(1)応力評価で、クラス１容器・ポンプ、弁等は応力強さにより評価し、一般機器、支持構造物は最大応力により評価することが端的に分るよう記載を見直すこと。

・1.2.2 評価項目の解説の初めの５行は、削除せず復活させて(1)応力評価の規定とつながるよう修文する。

(8 章)

・8.2.1 のタイトルは、空調機器から空調ユニットに修正し、8.2.1 d 項の記載は、附属書本文から附属書解説に移し、附解図 8-2 は、分りやすく記載を見直すこと。

(9 章)

・9.3 アンカー部の解説(2)埋め込み金物の評価方法は、「埋込金物については，埋込板(ベースプレート)及び基礎ボルトについて評価する。」に修正のこと。

（5）附属書 7.4　動的機器の地震時機能維持評価法　10. 弁

資料 No.26-2-3 により附属書 7.4　動的機器の地震時機能維持評価法　10. 弁について、前回検討会のコメントをふまえた修正案の説明が行われ審議した。本案を次回分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

（6）その他

次回検討会の予定は、別途連絡することとした。

以上